

迫る宮城県知事選 10月22日

原発・石炭火力・放射能汚染ゴミ焼却・自然エネルギー



仙台港に建設中の仙台パワーステーション(1月)

被災原発女川の再点検必要

まず女川原発再稼働問題。県民の声に押され、村井知事は宮城県独自の検討委員会を立ち上げました。委員が「被災原発であることを前提とした審査が必要」と指摘しましたが、村井知事はこれに応じません。1千か所以上に及ぶ故障箇所を抱えた被災原発女川を再稼働していいのか、根本的な疑問が出されています。

UPZ自治体の声を無視

福島事故後政府は30キロ圏内(UPZ)の自治体に、避難計画の策定を義務付けました。しかしUPZ自治体に「原発再稼働の是非」を尋ねる必要はないと、村井知事は言います。再稼働の是非を問われる自治体は、宮城県・石巻市・女川町の3つ。どこも原発関連の税金や交付金が入る自治体ばかりです。

石炭火力誘致した張本人

仙台新港に建設の石炭火力発電所。親会社が伊藤忠商事と関西電力。売電先は関東。この石炭火力を仙台に呼んだ人物が村井嘉浩知事。大阪出身の知事が大阪の企業に便宜を図ったのです。環境アセスを逃れ、旧式の焼却炉のため、煤塵排出量が膨大。仙台は大阪の7倍の硫黄酸化物を排出している緩やかな基準なのです。

現職知事、環境政策で4つの欠陥

10月5日告示、10月22日投票の宮城県知事選挙が近づいています。

現職村井嘉浩知事は、環境政策で4つの大きな欠陥をかかえています。それは女川原発再稼働問題・石炭火力仙台進出問題・放射能汚染ゴミ一斉焼却問題・自然エネルギー活用問題です。これらの4点について、皆様と一緒に考えてみます。(文責=広幡)

知事創設の環境税吹っ飛ぶ

村井知事は地球温暖化ストップのため環境税を導入。その環境税でCO₂排出量を減らしてきましたが、今回誘致した石炭火力1つで、この間のCO₂排出削減量を越えるCO₂を排出します。地球温暖化に逆行です。

放射能汚染ゴミ焼却を強要

村井知事は市町村長会議で8000ベクレル未満の放射能汚染ゴミの一斉焼却を了承させました。現在、仙南・黒川・石巻・大崎の4広域組合が準備中です。放射能汚染ゴミを焼却したら、放射能が空気中に飛散します。また処分場に埋め立てれば、滲出水となって川や大地を汚染します。宮城県議会でバグフィルター99.99%大丈夫と答えた国立研究所大迫研究員は使用文献の誤りを認めました。

自然エネルギーに背を向ける

風力発電導入で宮城県は東北6県でビリ。日照時間が多いのに、太陽光発電も福島・青森に負けています。環境税は「水素ステーション建設」などに使われ、太陽光発電補助金はストップ。一方福島県は2040年に使用電力100%自然エネルギーにする計画です。山形県は電力の小売会社を立ち上げています。



風力は自然エネルギーの主役！

世界の自然エネルギーへの取り組みは爆発的に前進しています。世界全体で 2016 年末、太陽光発電設備容量が 227GW(GWは 1000KW)、風力発電が 486GW に達しています。しかも 2015 年の再生可能エネルギー発電施設への世界全体の投資が 2900 億ドル(約 29 兆円)。河北新報でも、昨年 1 年間の投資で再生可能エネルギーが伸び、東北経済をけん引していると報道。

きらきら発電ニュース 10 月号は自然エネルギー特集号としました。(写真は福島県布引高原)

風力は大海時代へ

自然エネルギーの主役風力発電は、今後洋上への設置が強化されようとしています。ヨーロッパではすでに 15GW 導入され、発電単価が 5,7 円～8,1 円と安くなっています。台湾海峡にも 4GW の巨大ウインドファームが 2030 年までに建設される予定です。



国内の太陽光は 40GW 到達

2016 年国内の太陽光発電設備容量は 40GW に到達しました。これは国内発電量の 4%。太陽光発電協会では 2050 年まで 200GW 稼働すると予測しています。すなわち電力の 20%を太陽光で賄える時代が来ると予想しているのです。

60万円台の蓄電池登場

アメリカの EV メーカーが容量 14KWh(住宅 1 戸半分)の蓄電池を 61,7 万円で販売開始。この安い蓄電池が太陽光発電の増加を後押しします。(写真はきらきら 1 号機井土浜)

2040年EV時代到来

CO2 排出ゼロをめざし、イギリスとフランスは 2040 年全車 EV 化の方針を発表しました。中国も全車 EV 化の方針を検討中です。中国は既に 2025 年まで EV 車 20%化を目標値にしています。水素車導入を歌う宮城県村井知事の思惑ははずれてしまいました。

道路に太陽光発電

フランス北部ノルマンディー地方に、太陽光発電施設を敷き詰めた「ワットウェイ」が誕生。長さ 1 km の道路 2800 m²に敷設、140 戸分の電気が賄えるとのこと。

自然エネルギー見学会に申し込みを

11 月 3～4 日自然エネルギー見学会を行います。今年は岩手県紫波町・葛巻町を見学します。27 名定員で 21 名まで申し込みが入っています。まだ参加可能です。申し込みは FAX かメールで事務局に連絡ください。

きらきら発電市民共同発電所ニュース 10 月号

〒981-3215 仙台市泉区北中山 3 丁目 1 7-1 2

電話・FAX 022(379)3777

HP <http://kirakirahatuden.com/>

メール kirakirahatuden@outlook.jp